

北京第二外国语学院

1999年硕士研究生入学考试试卷

考试科目 日语（基础部分） 满分 100分

| 总分 | 阅卷人 |
|----|-----|
| | |

一、次の会話は面接での会話です。（ ）に入ることばを
a～dの中から選びなさい。（10点）

面接官：新聞は毎日読みますか。

学 生：はい。毎朝（ ① ）目を通して、関心のある記事は
夜（ ② ）読み直します。

面接官：どんなことに関心がありますか。

学 生：外国に関心があります。

面接官：というと？

学 生：やり方を間違えて経済が（ ③ ）になってしまった
国とか、国民は（ ④ ）にやせているのに政治家の
顔は（ ⑤ ）している国とか、ここ数年（ ⑥ ）経
済力をつけてきた国などがこれからどうなっていくの
か、というようなことに関心があるんです。

面接官：なるほど。日本についてはどう思いますか。

学 生：これからの日本を作っていくのは、子供たちです。そ
の大切な子供たちに、知識ばかりを（ ⑦ ）詰め込
んでいていいのだろうかといつも疑問に思っています。
勉強だけで疲れてしまっていて、休みの日は家で（ ⑧ ）
しているか、一人で（ ⑨ ）ファミコンをしている
子供が多いと聞きました。世の中にはもっと（ ⑩ ）

② つぶやくのでした。

1、①に「あの子がに」とあるが、あのといったのは、ふきのどんな気持ちからか書きなさい。(20字以内) (8点)

2、②に「つぶやくのでした」とあるが、このことからふきはどう生きていくと思われるか、書きなさい。(30字以内) (8点)

七、入学後の研究計画について書きなさい。(800～1000字) (20点)

するようなことがたくさんあるのですから、そうしたことを体験してほしいと思います。

- | | |
|-------------|-----------|
| ① a. きよろきよろ | b. こそこそ |
| c. ざっと | d. ぼっちり |
| ② a. じっくり | b. てきばき |
| c. らくらく | d. ぎっしり |
| ③ a. くしゃくしゃ | b. こなごな |
| c. めちゃめちゃ | d. ぼらぼら |
| ④ a. よぼよぼ | b. がりがり |
| c. がくがく | d. すれすれ |
| ⑤ a. おずおず | b. ぼかん |
| c. つやつや | d. うきうき |
| ⑥ a. てきばき | b. めきめき |
| c. こそこそ | d. らくらく |
| ⑦ a. がつがつ | b. ぎゅうぎゅう |
| c. じりじり | d. がみがみ |
| ⑧ a. ごろごろ | b. てきばき |
| c. のうのう | d. おとおと |
| ⑨ a. ぼかん | b. しゃあしゃあ |
| c. まごまご | d. もくもく |
| ⑩ a. ぎよっ | b. ひやひや |
| c. わくわく | d. びくびく |

二. 次の文の内容にあう最も適当な慣用句を a～dの中から選びなさい。(10点)

今の子供たちは個性がないと言われている。「いい大学に入って、いい会社に就職すれば幸せになれる」という社会通念によって、一つの(①)しまうのだろう。その結果、いやだと思っても親や社会に(②)こともできない人間になって、希望もなく、無関心になって(③)人生を送るのだ。そんな子供たちがいつか親になるの

かと思うと、(④)。なぜなら、「無関心」ほど恐ろしいものはないと私は思うからである。

- ① a. 型にはめられて b. 一泡ふかせて
c. 固唾を飲んで d. 角が取れて
- ② a. きびすを返す b. 盾を突く
c. 腹を決める d. かぶとを脱ぐ
- ③ a. 物怖じした b. 木で鼻をくくった
c. 味もそっけもない d. 手が付けられない
- ④ a. 肝を冷やす b. 背筋が寒くなる
c. 身の毛がよだつ d. 馬脚をあらわす

成功して(⑤)いた時、思わぬ失敗をしてしまった。その時「初心を忘れないように」と言った先生のことばが今でも(⑥)いる。

- ⑤ a. 火ぶたを切って b. 魔がさして
c. 図に乗って d. 角が取れて
- ⑥ a. 気がとがめて b. 身を固めて
c. 手を回して d. 心に残って

卒業してからというもの、友達に連絡をしても(⑦)、どうしているのか分からなかった。昨日のクラス会で、彼女が留学先で就職をしたと(⑧)が、元気なのだろうかと気になる。

- ⑦ a. 一泡ふかせて b. 梨のつぶてで
c. 顔を曇らせて d. 船をこいで
- ⑧ a. 小耳にはさんだ b. 鶴の一声だった
c. 言葉に甘えた d. けんもほろろだった

前社長のずさんな経営で借金を重ね、(⑨)なってしまった会社を立ち直らせて、何とか(⑩)までにした。

- ⑨ a. 首が回らなく b. 虫がよく
c. 人が悪く d. 身につまされる

- ⑩ a. 飛ぶ鳥を落とす b. 図に乗る
c. 軌道に乗る d. 棚上げする

三、 の言葉の中から最も適当なものを選んで、()
の中に入れなさい。(10点)

| | | | |
|---------|-------|------|-------|
| はさておき | もかまわず | あげく | にかけては |
| だからといって | たところ | 次第では | たりとも |
| をぬきにしては | からこそ | ときたら | につき |

- 1、首相()、権力を乱用することは絶対許されない。
- 2、考え方()、苦しい経験も貴重な思い出になる。
- 3、モーツァルトの一生は父との旅()語ることができ
ない。
- 4、責任が誰にあるのか()、今は今後の対策を考える

へるに。

- 5、最近電車の中で人目()化粧している女の人をよ
／＼見はる

- 6、開会式までの日数を考えると、工事は一日()遅
らせることはできない。
- 7、足の速さ()自信があつたのですが、若い人にはも
うかないません。
- 8、この自動販売機()よく故障する。取り替えた方が
いいと思う。
- 9、かわいいと思っている()、厳しくしつけるのです。
- 10、この手紙は料金不足()、返送された。

四、次の文章を読んで、おとの問いに答えなさい。

履歴書に大学名を書かなくてもいいという企業が現れた。レコード
業界トップのCBS ソニーである。脱学歴に踏み切った背景には、出身

大学にはこだわらず、個人の能力を思う存分に伸ばすという社風がもとからあった。同社は創業 21 年で、若手グループの力が、有能な若いアーティストを大量に①この世界に送り出してきたという実績を持つ。ヒットを生むアーティストを見抜くには、学歴など何の役にも立たない。どこの大学を卒業したかではないのだ。若者たちが何を求めているのか、そして、彼らがいったい、世の中に何を問いかけているか、②それらを確かにつかむ③先見の明がこの会社にはあったのだろう。かつては、④「奇らば大樹の陰」ということばが定説になっていた。大企業に就職すれば年功序列で、特にミスをしなれば生涯安泰に暮らすことができる。いわゆるブランド志向もいずれ影をひそめるに違いない。

就職を目の前にした新卒の学生たちは、ブランドや給料よりは（ ⑤ ）、やりがいのある仕事、充実感を覚える仕事への意識を強めている。気に入らない仕事はしたくないという若者が増えている。

一方、学歴に対する企業の意識もかなり柔軟になっている。ちなみに、「日本の 100 社' 89」のトップインタビューによると、期待される人材として、「世界を相手にする気概と体力のある人」「国際化に積極的に挑戦する人」「やる気十分の人材」「覇気のある若者」「個性を発揮する創造的人材」「チャレンジ意欲のある若者」「多分野に挑戦する活力ある人間像」「若おじんはだめ」「信念と行動力の人」「好奇心と執着心のある人」「大胆な発想のできる人」「アイデアマン」などとなっている。企業自体、出身大学よりも個人の能力や個性に重点をおく採用方針へと転換しているのが現状である。企業は社会の動静に鋭く対応する姿勢を見せている。

とはいえ、依然として有名大学へと進学希望者が殺到している。脱学歴社会へと変貌している現実を知ってか知らずか、学校や世の母親たちは、より偏差値を上げなければと、子供たちの尻をたたき、悲鳴を上げている子供たちの声が⑥彼らには届いていない。その圧力に耐えかねて非行に走り、自殺に追い込まれている子供たちがあわれである。

脱学歴社会は着実に進んでいるのだ。偏差値だけで人間を判断しない社会になりつつある。人の気持ちの分かる、人間的に豊かな若者こそ二十一世紀の担い手になるだろう。そのきざしが見え始めている。

1、 次の外来語を和語か漢語になおしなさい。(8点)

- | | |
|-------|-----------|
| ①トップ | ⑤アーティスト |
| ②ミス | ⑥チャレンジ |
| ③ヒット | ⑦アイデelman |
| ④グループ | ⑧イジタビュウ |

2、 次の漢字の読み方を平仮名になおしなさい。(5点)

- | | |
|-----|-------|
| ①実績 | ⑥大樹 |
| ②覇気 | ⑦脱学歴 |
| ③柔軟 | ⑧年功序列 |
| ④殺到 | ⑨執着心 |
| ⑤悲鳴 | ⑩生涯安泰 |

3、 ①の「この世界」とは、どんな世界か、本文中から一番近い意味のことばを抜き出しなさい。(2点)

4、 ②の「それら」は何を指すか、次の中から適当なものを選び、記号に○を付けなさい。(一つとは限らない)。(2点)

- a 若者たちが何を求めているのかということ
- b 若者たちがどこの大学を卒業したかということ
- c 若者たちがヒットを生むアーティストを見抜くこと
- d 若者たちが世の中に問いかけているもの

5、 ③の「先見の明」とはどういう意味か、次の中から最も適当なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。(2点)

- a これから先がどうなるか、正しく見通せる力
- b これから先をどうするかという考え
- c これから先の明るい可能性
- d これから先を築いていく若者たちの力

6、 ④の「寄らば大樹の陰」について、最もよく説明している

一文を本文中より抜き出さない。 (3点)

- 7、 (⑤) に入れるのに最も適当なものを次の中から一つ選び、記号に○を付けなさい。 (2点)
- a むしろ b やはり c また d もちろん
- 8、 ⑥の「彼ら」とは誰か、次の中から最も適当なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。 (2点)
- a 企業のトップたち b 進学希望者
c 学校や世の母親たち d 人間的に豊かな若者 (たち)
- 9、 本文の趣旨に合うのは次のうちどれか。次の中から最も適当なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。 (2点)
- a 脱学歴社会は確かに進んでいる。高い学歴に加え、他人の気持ちの分かる豊かな人間性を持った人々が、次の時代を築いていくだろう。
- b 脱学歴社会は確かに進んでいる。企業も学歴を無視して、個人の能力や個性に重点をおく採用方針を採るようになった。
- c 脱学歴社会は確かに進んでいる。若者も、学校より社会に対して目を開き、やりがいのある仕事や充実感のある仕事を求めて会社を選ばなくてはならない。
- d 脱学歴社会は確かに進んでいる。しかし子供たちはそれとは無関係に偏差値をあげるために尻をたたかれ、学歴を身に付けざるを得ない状況に追い込まれている。

五、次の文を読み、取り上げた詩についての筆者の解釈について答えよ。

か な し み

谷川俊太郎

あの青い空の波の音が聞こえるあたりに
何かとんでもないおとし物を

僕はしてきてしまったらしい

透明な過去の駅で

遺失物係の前に立ったら

僕は余計に悲しくなってしまった

「20億光年の孤独」

遺失物係の世話になったことのある人は多いはずです。おとし物が戻ってきた時はうれしいけれど、あとかたもなく消え失せてしまったときの侘しさ。おとし物が多いせいか係の人は事務的にさばいて、あまり人間的なことばを発してくれません。

この詩のなかの遺失物係に人はいたのでしょうか。人気のない駅。どうも無人だったような気がします。しかも、おとし物が何だったかも忘れてしまって、忘れたという感覚だけが残っていて。途方にくれて。すべてが曖昧で、それなのに、へんに澄んだ世界です。

生まれてくる時、人はどういうところを通ってきたのでしょうか。

「私はどうして今、ここにいるのだろう」

「いったい何をやっているのだろう」

「なんのために生まれてきたのだろう」

思い出せそうで、うまく思い出せない世界。両親がいたから生まれてきたのに間違いはないけれど、もう一つ別の、抽象的なルートに思いを馳せるようになった時、人は青春の戸口近くに立ったことになるのでしょうか。

日本語には（ものごころつく）という味わい深い言い方がありますが、体が常に細胞分裂を繰り返して大きくなってゆくように、心の世界でも幼年時代の単一さから、分裂の気配を見せはじめます。自分を客観的にとらえようという動きが出てきて、さまざまな欠落感になやまされるようになります。「かなしみ」という詩も、そんな問いの一つかもしれません。

で、次のどの時期を扱っているか。(3点)

- a. 生まれたばかり b. 幼年期
- c. 青春期 d. 成熟期

2、この文章によると「かなしみ」という詩のテーマは次のどれか。(3点)

- a. おとし物が戻ってこなかった時の侘しさ
- b. 言葉をあまり発しないで仕事を事務的にさばくことの非人間性
- c. 体が常に細胞分裂をくりかえして大きくなっていくこと
- d. 自分を客観化し始める時に感じる欠落感

六、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

いつしか秋も暮れて、北国の海岸地方には、身を切るような冷たい潮風に吹かれて、ぼらぼらとあられが飛び、みぞれが降ると、またたくうちにどさっと大雪が来てしまいました。明けても暮れても、雪はしんと降りつづけました。

暗いふぶきの中から、ゴー、ゴー、ゴー、とどろく海鳴りの音が絶え間なく聞こえてきます。また、こんな日は、窓や障子戸のすきまから、銀すなごのような細かな雪が、風にあおられて舞い込んでくるのでした。

ふきは、ときどき① あの子がにのことを思い出しました、あんな小さな生き物ではありますが、人間と人間とのつながりにも似たような、忘れがたい愛着が少女の心の中に結び付けられているのです。ふきは、そういう夢のような世界に、自分は生きているということを思う時、これはひょっとすると、お母さんがいつも自分のことを思いつづけていらっしゃる、その心が自分の心の中に現れてくるのではあるまいか——こんなことをふきは思うのでした。「お母さん、子がには暗い海の中でも、ちゃんと生きているのでしょうか。ねえ、そうでしょう。わたしも……ふきも、ちゃんと元気でいますよ。」

ふきは薄暗いろばたで、ゴーゴーと鳴りどよむ海の音を聞きながら、